

特別展

天下人との邂逅

— 海峡の戦国史 第3章 —



羽柴秀吉

令和6年 10月4日(金)~12月1日(日)

「織田信長画像(部分)」(兵庫県立歴史博物館蔵、展示はパネル)、織田信長朱印「天下布武」(山口県文書館蔵「織田信長朱印状」より)、
「豊臣秀吉画像(部分)」(大光寺蔵・岡山県立博物館寄託)、羽柴秀吉署判(個人蔵・岡山県立博物館寄託「羽柴秀吉掟書」より)

SHIMONOSEKI CITY MUSEUM OF HISTORY

下関市立歴史博物館

〒752-0979 山口県下関市長府川端二丁目2番27号

TEL.083-241-1080 FAX.083-245-3310

【開館時間】 9時30分～ 17時00分[入館は16時30分まで]

【休館日】 月曜日(10月14日・11月4日は開館し、
10月15日・11月5日に休館)

【観覧料】 一般 700円[560円]、大学生等 400円[320円]
65歳以上(市内在住) 350円

※[]内は20名以上の団体料金

【駐車料金】 最初の2時間まで1時間ごとに100円

最初の2時間を超える30分又はその端数ごとに100円

【駐車台数】 一般26台、身障者用2台

《イベント》 関連講座

①「毛利氏と天下人」

②「祖先たちの戦国史 — 長府藩家老家を中心に —」

【日 時】 ①10月13日(日)・16日(水) ②11月21日(木)・24日(日)

時間はいずれも10:30～11:30

【場 所】 下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

【定 員】 35名(要予約・先着順、連絡先083-241-1080)

※令和6年10月4日(金)9時30分より電話

または博物館受付にて受付開始。

【資料代】 300円

天下人との邂逅 —海峡の戦国史 第3章—

下関に進出した毛利氏は、北部九州をめぐって大友氏と衝突しました。10年余に及ぶ戦いを経て、毛利氏は九州から撤退することになり、さらに支柱である毛利元就の病没という試練に見舞われます。そして、叔父吉川元春、小早川隆景の補佐を受けた若き当主輝元のもと、毛利氏の戦いの舞台は東方へと移っていきました。

敵対する勢力との激しい戦いが続くなか、元就の4男元清は、居城としていた安芸桜尾城に加え、備中猿掛城をも預かることになり、毛利氏の東部戦線の一翼を担って活躍します。また、この時元清とともに戦った中国地方の領主たちのなかには、のちに元清の子息秀元を支えていく者も含まれていました。

東進を続ける毛利氏は、畿内を押さえて一大勢力となっていた織田信長と対峙します。当初は友好的な関係を築いていた毛利氏と織田氏でしたが、次第に周辺の領主を巻き込んで対立を深め、ついに決戦の火ぶたが切られることになりました。

本展示では、毛利氏と天下人への道を突き進む織田信長や羽柴(豊臣)秀吉との戦いを軸に、毛利元清や長府藩士の祖先たちの動向を紹介するものです。



「毛利輝元起請文」(個人蔵・当館寄託)

元就生前と変わらない付き合いを誓う!



「村山家檀那帳」《後期展示》
(山口県文書館蔵)

長府藩士の祖先の名が散見!



「宇喜多能家画像」《後期展示》
(岡山県立博物館蔵、重要文化財)

備前の雄の生前の姿を描く!



「細川通董画像」
(長川寺蔵)

備中守護家の流れを汲む長府藩家老の祖!



「毛利元清画像」《前期展示》
(来福寺蔵・当館寄託)

毛利氏の東部戦線で活躍した元就4男!

担当学芸員のオススメ!

- 近年発見された豊臣秀吉の画像や掟書など、山口県下初公開資料を多数展示!
- 戦国時代における長府藩士の祖先たちの活躍を新出資料を交えて紹介!



Shimonoseki City Museum of History
Curator: Hitoshi Okamatsu
下関市立歴史博物館
学芸員: 岡松 仁

SHIMONOSEKI CITY MUSEUM OF HISTORY

下関市立歴史博物館

〒752-0979 下関市長府川端二丁目2番27号
tel.(083)241-1080 fax.(083)245-3310

<https://www.shimohaku.jp>

交通のご案内

●公共交通機関	長府・小月・宇部・秋芳・長門・西市方面行きバス(25分)	城下町長府バス停 徒歩10分
JR下関駅	「城下町長府」経由「マリンランド」または「下関駅」行きバス(20分)	
JR新下関駅	「長府駅」または「長府駅前」バス停から「下関駅」行きバス(10分)	
JR長府駅		
●自動車		
下関I.C	「壇ノ浦」方面に進み、国道9号線経由(20分)	
	「長府」方面に進み、国道9号線経由(15分)	

